



年 頭 所 感

中国四国産業保安監督部四国支部長 山下 隆

平成24年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は産業保安行政に対しましてご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は、3月に発生した東日本大震災、さらには地震による津波によって引き起こされた福島原発事故と誰もが経験したことのない未曾有の国難に直面する年となりました。

国としても被災された方々への支援や被災地域の復興に全力で取り組んでおります。その一つとして福島原発事故で被災・避難された住民の方々の警戒区域内への一時立入に対する支援があり、本支援業務には全国の保安監督部から人員派遣を行っております。四国支部からもこれまでに延べ21名の派遣を行っており、本年も引き続き派遣することとしております。

また、本原発事故により全国的に定検で停止した原発の再稼働が延期されることになり、電力需給の面でも電力使用制限令がだされるなど異例の事態となりました。今年についても厳しい需給局面が続くものとみられており、四国管内でも伊方発電所の全基停止も予想されることから昨年以上に厳しい状況が続くものと考えられます。

こういった状況の中では、電力の安定供給の面からも事故の発生防止が求められることとなり、保安確保の重要性が一段と増してきているといえます。

もちろん、電力に限らず各分野の産業保安の確保は最重要事項といっても過言ではなく、本年もこれまで以上に、災害・事故防止に向けた日々の地道な努力の継続が必要になります。

当支部としましても、引き続き、産業保安において「国民の安全確保と環境の保全」を達成すべく、立入検査を通じた法令遵守状況の確認・徹底、情報の収集・分析や周知等を実施しつつ、不適切事項に対する厳正な対応を図っていくこととしておりますが、産業保安における安全確保の主体は各事業者の皆様であります。

今年も、事業者の自主性を活かした保安レベルの更なる向上が図られるようご尽力をお願いしますとともに、皆様のご健勝、ご多幸とご安全を心から祈念いたしまして年頭の挨拶とさせていただきます。